

県産木材でもの作りの楽しさを 親と子の木工広場

第37回親と子の木工広場（富岡木材組合、町建設業協会、県建築業組合連合会甘楽支部主催）が7月24日、富岡製材協同組合プレカット工場（白倉）で開かれました。小学生と保護者48組117人が参加し、木材を切ったりくぎを打ったりして、県産木材を使った棚やイスなどの木工作品作りに挑戦しました。

家族で参加していた飯塚遥翔さん（新屋小・5年）は「くぎを打つのが難しかったけど、お父さんはうまくてすごいなと思った。来年も参加したい」と話してくれました。



親子で力を合わせて作品を作る参加者

また、作品展が8月4～18日にら・ら・かんで開かれ、棚やイス、小物入れなど21点が展示されました。

来館者は、工夫を凝らして作られた木の温もりあふれる作品に見入っていました。



力作が並んだ作品展

楽しみながら親子で学ぶ およこの食育教室

甘楽町食生活改善推進協議会（松浦政子会長）は、7月26～28日、ら・ら・かんで「およこの食育教室」を開きました。

同協議会は、料理を通じて親子のコミュニケーションを深め、その楽しさや大切さを学ぶことで「食」の魅力を伝えるため参加者を募り、3日間で23組56人が参加しました。

献立は「タルタルの鮭フライ」「野菜としらすのぎゅうてん」の2品で、若山麻美さん（小幡小・1年）は「家でお手伝いをしていて、お魚にさわるのも平気だった。楽しかったので家でも作ってみたい」と話してくれました。

できあがった料理は感染症対策の観点から試食を行わず、持ち帰って食べました。



親子で材料を切るところから調理開始

福島地区が優勝！ 地区対抗野球大会



第39回町地区対抗野球大会が7月24日、甘楽野球場で開かれました。

熱戦を制したのは、福島地区でした。結果は次のとおりです。(敬称略)

◆成績 優勝 福島地区 (左写真)
準優勝 小幡地区

☆個人賞 最優秀選手賞 木口 武 (福島地区)
殊 勲 賞 齋藤芳充 (福島地区)
敢 闘 賞 高橋 隼 (小幡地区)

山田さんの100歳を慶祝

山田サイさん(大正11年8月6日生まれ・轟)が100歳の誕生日を迎えられ、8月6日に茂原町長が特別養護老人ホームシルクおばたを訪問し、慶祝状と祝金を手渡しました。

山田さんは善慶寺の生まれで轟に嫁ぎ4人のお子さんに恵まれ、ご主人と2人で米や麦、こんにゃく、キウイフルーツ、養蚕に励んでこられました。

ご家族は「昔からよく働いて子どもたちの面倒を見てくれたやさしい母親」と話され、現在は施設内でおしぼりやエプロンなどをたたむのを手伝ったり、花瓶など身の回りの物を自ら描き色を塗るなどして穏やかに毎日を過ごされています。



小幡七福神めぐり 500人達成！



「自然豊かで癒しになった」と話す飯島さん

小幡七福神会(松浦彰一会長)が取り組む「城下町小幡七福神めぐり」の達成者が500人を突破し7月23日、500人目となった飯島雄三さん・英子さんご夫妻(藤岡市)と孫の莉空さん(伊勢崎市)に記念品が贈られました。

同コースは、平成5年から始まった取り組みで、町内7つの寺の七福神を巡りながら町の自然や名所を楽しむことができます。平成31年からは、道の駅甘楽や各寺で色紙を購入し寺ごとに七福神スタンプを押印、最後は甘楽ふるさと館で宝船の達成印を押して完成する方式になり、同方式になってから500人目の達成者を迎えました。

地域スポーツ活動の促進に貢献



7月23日、昌賢学園まえばしホールで開催された第57回群馬県スポーツ推進委員研究大会において田村博子さん（秋畑）が10年表彰を受賞しました。

これは、スポーツ推進委員として長年地域住民の体育・スポーツ活動の振興に貢献した人が表彰されるものです。

田村さんは、秋畑地区を中心に活動しており「高齢化とコロナ禍ではありますが、これからも皆さんと協力して地域の人がスポーツを通して集まれる場を提供していきたい」と受賞の喜びを語りました。

ソフトテニス全国大会でベスト16 森平さん

第39回全日本小学生ソフトテニス選手権大会が7月28～31日に秋田県大館市で開かれ、甘楽町ジュニアソフトテニスクラブ（外所淳也代表）の森平 莉万理さん（新屋小・6年）が女子個人戦で出場190組中、ベスト16に入り第9位入賞の好成績を残し、団体戦でも群馬県のベスト8、第5位入賞に貢献しました。

森平さんは「個人戦は目標としていたベスト16で9位に、団体戦もベスト8で5位に入賞できました。次回はもっと上に行けるように練習を頑張ります」と話しました。



古代ハスが大きく花開く 国峰城外濠跡

朝日を浴びて輝く大輪の花



国峰地区に残る国峰城外濠跡に濃いピンク色をした古代ハスが咲きました。

「国峰城には特別な思いがある。通学路に面した外濠に古代ハスを咲かせ、国峰城に関心を持ってもらいたい」と国峰城保存会が平成17年に葦に覆われた濠の整地を行い、苗から育てた古代ハスを植えたものです。以降毎年花を咲かせてきましたが、去年は咲きませんでした。

そこで保存会の思いを引き継ぎ、今年4月、善慶寺・国峰地区を中心に国峰城外濠を守る会（富岡 今朝造会長・会員11人）を新たに発足させました。除草作業を行ったり害獣防護ネットを設置したところ、大輪の花を咲かせたため、今後も古代ハスを守り育てる活動を継続していく予定です。

富岡会長は「去年のままでは枯れてしまっていたかもしれないが、皆さんの協力のおかげで今年は見事に咲いた。地元の人以外も見に来てくれてうれしい」と思いを語りました。



5月、外濠跡の整備を行う守る会の皆さん